

やどりぎ案内

(東京藝術大学)

×

西会津町中町集落

アートプロジェクト〈もの語りの層〉

活動報告

1.地区の概要と取り組むべき課題

西会津町

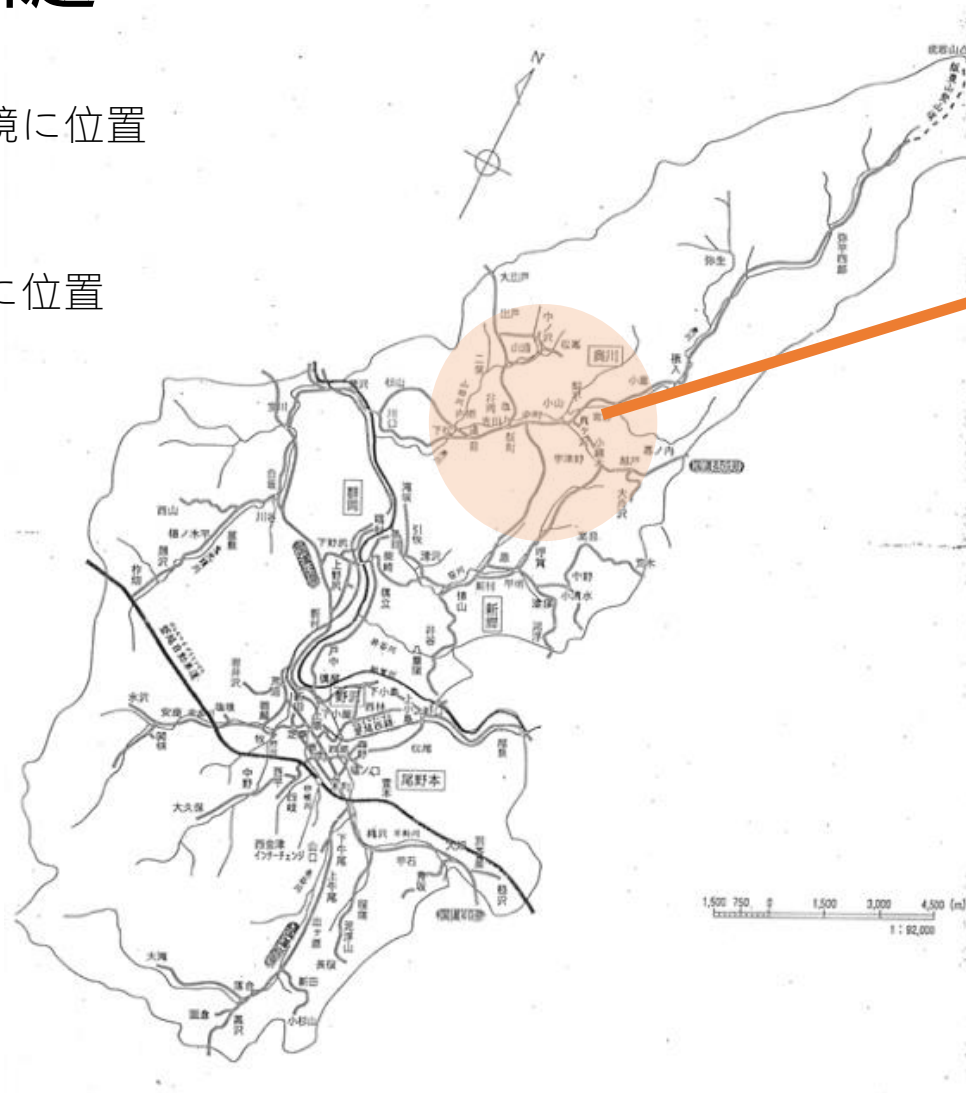
福島県会津地方の北東部、新潟県との県境に位置

中町集落

西会津町の中でも山間の地区、奥川地区に位置



(<https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/site/kanko/3034.html>)



(西会津町白地図より)

課題

過疎化と高い高齢化率。

西会津町は福島県内でも人口減少率が高く、前年の国勢調査では10%を超えている。

中でも中町集落のある奥川地区は高齢化率も人口減少率も高い地域。

中町集落→2022年4月1日時点での、集落民のみの高齢化率は60%（人口は41人）



町外からの若者と集落をつなぐきっかけを作り、関係人口の創出を促す

2.今年度実施した取組みの内容

アートプロジェクト＜もの語りの層＞

東京藝術大学をはじめとする都内の美大生6人が集落へ滞在し、「権現堂」と呼ばれる集落内の原っぱを舞台に、集落住民との関わりの中で作品制作を行った。

権現堂で採取した植物で草木染めを行い、描画した布を東屋へ装飾し、2日間だけお堂を再現させるプロジェクト。作品制作の過程は集落住民や近隣住民の方々と行い、展示期間も集落の方々と交流をした。

もの語りの層

公開展示
2022.8.22^月 - 23^火
13:00-17:30 10:00-17:30

公開制作

19 ^金	10:00-16:00	「権現堂」の草木染め・談話会 西会津町奥川 みらい交流館（奥川支所）2階 福島県耶麻郡西会津町奥川大字飯里字上ノ原 37 番地 1
20 ^土		

ドロージョー

21 ^日	13:00-16:00	2日間だけの特別な「権現堂」を作家・キュレーターと回るツアー
		22 ^月 ①16:00-
		23 ^火 ②11:00- / ③16:00
		両日、西会津町奥川みらい交流館集合

ガイドツアー

「権現堂」を探る。

※開催地 | 権現堂【福島県耶麻郡西会津町奥川大字飯里字岩坂 1408-3】

主催 | やどりぎ案内 × 西会津町中町集落
※やどりぎ案内とは…藝大と武蔵美を中心としたアーティストとキュレーターによる学生有志団体

助成 | 福島県令和4年度「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

〈もの語りの層〉 実施スケジュール

1 豆乳・牛乳つけ



草木染でしっかり染めるために布を豆乳・牛乳に一晩つけ置き、朝それを干した。

4 木炭の制作



「権現堂」で採取した枝を描画用の木炭にするために燻製した。

2 草木の採集



作品制作・展示の中心となっている中町集落の「権現堂」にて、布を染めるための草木を採集。

5 描画（ドローイング）



奥川の役所横にある体育館にて、③の布に墨汁や自作した木炭などで描画した。この日は中町集落の方々だけではなく近隣にお住まいの方々も観に来てくださり、途中から一緒に描画体験を行った。

3 草木染め



奥川の役所の2階にある家庭科室をお借りして2日間かけて草木染めをおこなった。以前奥川に訪れた際にお世話になった中町集落の方々も遊びに来てくださり、一緒に作業をしていただいたり奥川での暮らしや権現堂での話などをうかがったりした。染め作業が終わった布は縫い合わせて大きな2枚の布にした。

6 設営・展示



描画した2枚の布で権現堂の東屋を覆い、そこにかつてあったかもしれない権現堂をよみがえらせた。2日間にわたって作品を展示し、来場者の方々と交流した。また、やどりぎ案内による作品解説ツアーも行った。東屋の中には草木染めの際に一緒に染めた画用紙と自作した木炭を置いておき、訪れた人に思い思いの言葉や絵をかいていただいた。

展示公開日の様子



3.まとめ

1 関係人口の創出

芸術活動をする若者と、集落住民との直接的なつながりを作ることができた。

2 集落内にある廃校舎や場の活用

集落にすでにある資源を活用することで、町外から来た若者が集落へ感じる魅力を引き出すことができた。



4. 今後に向けて

都内で芸術活動をする若者の第2の拠点として、新たな創作や活動の場として、継続的な関係維持を目指す。活動を通じて集落を訪れる若者の輪を広げ、集落の関係人口増加を促す。

→ 持続的な関係の構築

